

職業がんをなくそう通信

個人会員 1 口 1000 円 職業がんをなくす患者と家族の会

団体会員 1 口 1000 円 近畿労働金庫 難波支店 (店番号 590) 口座番号 (普通 8759834)

毎月 1 日 個人団体会員向発行

〒 556-0011 大阪市浪速区

難波中 3 丁目 17-9

発行責任者：堀谷昌彦

Tel (06) 6647-3481

Fax (06) 6647-0440

<https://ocupcanc.grupo.jp/>

e-mail: ocpcnc@grupo.jp

第 4 回職業がんをなくそう集会 大阪で開催 25 団体 40 名が参加

2017 年 7 月 17 日 第 4 回職業がんをなくそう集会が大阪・PLP 会館 4 階中会議室で開催され、25 団体 40 名の参加がありました (研究者 2 名 弁護士 2 名含む)。

【記念講演】職業と化学発がん

鰐淵英機教授 (大阪市立大学大学院医学研究科)

鰐淵英機教授 (大阪市立大学大学院医学研究科都市医学講座分子病理学) が「化学物質の職業ばく露による環境発がん」を講義されました。

はじめに、化学物質のヒトでの発がん性予測はヒト集団における疫学的調査と動物を用いた発がん性試験に基づくこと、国際がん研究機構 (IARC) がアスベスト、ヒ素やオルトトルイジンなど 32 物質を職業上の発がん性物質に指定していると述べられ、1,2-ジクロロプロパンやジクロロメタンによる胆管がんやオルトトルイジンによる膀胱がん、粉じん等によるじん肺や石綿肺、中皮腫等職業がん・職業病を作業現場や細胞、臓器の画像で解説され、職場での化学発がん物質ばく露による発がん (IARC, 2014) の表を紹介されました。また日本では死因別死亡数の割合でがん死亡が 29% を占め (心疾患 15%) その割合は年々増加し年間がん死亡数は 37 万人にのぼる (H27 年人口動態統計より) と指摘されました。

次に腫瘍の定義や悪性腫瘍の特徴、リンパ行性・血行性・播種性転移および早期発見の重要性等について図解で説明され、がんに関連する遺伝子 (がん遺伝子・がん抑制遺伝子・アポトーシス遺伝子・テロメラーゼ遺伝子) とそれらの異常によるがんの原因として外因 (化学的・物理的・生物学的がん因子) と内因 (年齢・性・人種・家系) があることを示されました。イギリスの外科医 Pott が 1775 年煙突掃除夫に陰嚢がんが多くその原因は煤であろうと推測し、1895 年ドイツの Rehn が合成染料フクシンの製造作業員に膀胱がんが多く原因はアニリンであろうと考えたことを紹介され、化学物質の発がん性は特定の物質に高濃度・高頻度でばく露される労働者を観察することで発見されてきたこと (疫学研究による発見)、1918 年山極勝三郎がウサギの耳にコールタールを反復塗布することで発がん性を証明したことを示されました。



開会あいさつをする田中世話人代表と参加者

実験動物を用いた発がん性試験の解説では、長期 (2 年) 試験は信頼度が高いものの期間と費用がかかるため、中期試験では発がんを誘発した後に化学物質を投与するなどで 40 週以内に情報を得られることを紹介されました。

最後に職業がんの早期発見のための特殊健康診断と膀胱がんの検査と治療の解説をされました。

参加者アンケートでは、難しいことをわかりやすく教えて戴いたと大変好評でした。

【基調報告①】田中康博氏 (三星化学工業支部)

田中氏は最初に昨年 12 月 21 日に労災認定されたことを報告し、この間多くの皆さんによるご支援の賜物であると感謝を述べました。膀胱がんの発生状況は 40 名程度の工場で 40 代から 60 代の現役労働者 6 名、40 代から 70 代の退職者 3 名、ばく露歴は 7 年～28 年で全て製造部門、発症時期は 2014 年 2 月～2017 年 2 月、取り扱った芳香族アミンは多い順にアニリン、オルトトルイジン、2,4-キシリジン、オルトアニシジン、オルトクロロアニリン、パラトルイジンなどとなっています。

何故、三星化学で膀胱がんが多発したのかについては、職場の実態から考えると①いじめの横行。作業差別 (気に入らない者は乾燥工場に配置される) と賃金差別 (差別を受けた者は評価給により生活保護レベルの賃金) ②経営者の神格化。③遵法意識の欠如。管理職が労基法・労安法を知らないし守らない。④加害者意識の欠如。⑤労使対等原則の欠如。などがあげられます。

問題ある会社の姿勢として、①化学物質を取り扱う会

【総会】活動報告、総括、決算報告、方針、 予算、新役員 承認される

活動報告および総括を堀谷事務局長、決算報告および会計監査を石橋副代表と宮崎会計監査が報告しました。

活動報告では、この1年間で3回の職業がんをなくそう集会が開催されたことに触れました。昨年6月11日第1回集会（大阪）に5単産・8団体・専門家・個人70名が参加し「職業がんをなくす患者と家族の会」が結成されました。第2回集会（福井県三国）には東京・神奈川・名古屋・石川・福井・京都・大阪・兵庫から2単産・6団体・専門家、個人49名が参加し普段違う領域で活躍している団体の交流がされました。三星化学で働く労働者の職場実態やトンネル掘削現場の実態など様々な経験交流ができました。第3回集会（東京）には20団体48名が参加し、印刷職場から胆管がんの労災認定にあたっての厚労省要請行動の様子や東京労働安全センターより環境計量を通じての支援活動の紹介などもされました。毛利一平先生には第1回集会と第3回集会で職業がんに関する講演をしていただき、英国の疫学データを参考にすると日本では職業がんによる死亡件数は年間2万件程度にのぼり殆どが私病扱いされていること、がん患者の職業サーベイランスを進めると共に職業がんの掘り起こしは非常に重要な取り組みであると示されました。

個別フォローでは、岸和田の建設労働者で発生した上顎がん、京都印刷会社で印刷作業に従事し定年退職した労働者に発生した胆管がん、かつて中国で染色職場の検査作業に従事した東京在住労働者に発症した膀胱がん、接着剤の開発に従事しジクロロメタンへのばく露があった神奈川県の労働者に発生した胆管がん、ブチルセロソルブほか様々な化学物質に濃厚ばく露し亡くなった三重県の労働者の労災申請事案、福井県および徳島県におけるオルトトルイジンによる膀胱がん事案などに取り組んでいることが報告されました。労災認定の早期実現の要請と共に厚労省が発表した報告書の誤りについても質しました。厚労省が主催する特化則の改正に伴う意見交換会に出席し現場実態を訴える中全ての芳香族アミンを規制対象にと要請しました。

会員は個人会員110名、団体会員21団体と多くの支援を受けることができました。活動に関し関係団体の通信や機関誌・雑誌への投稿はしてきたものの、HPを作成後更新が3回、ブログ更新も21回に留まったこと、会員に対して通信を発行できなかったことが猛省すべき点であることが報告されました。

決算は、別表の通り報告され、会計監査より正確に運用されていることが報告されました。集会では東京集会

における交通費が膨らんでしまったこと、今後現地で実行委員会を開催していくなどの工夫が必要な点が報告されました。

方針については、引き続き芳香族アミン等のがん原性調査と規制強化の要請、化学物質ばく露防止対策の推進強化の要請、厚労省公表データの検証、がん対策基本法における職業がん対策の位置づけ強化に取り組むこと、職業がんの掘り起こし・個別フォローに取り組むこと、個人会員130名・団体会員25団体を目標にすること、HP・ブログ更新の定期化、会員向け通信を4回以上発行することが提案されました。

世話人は従来役員に加え福井県藤原貴文さん、大阪府宮崎徹さんが加わることが提案されました。

報告および提案に関しては参加者の拍手で全て承認されました。

【会場発言】8団体10名の報告がされる

会場発言は、化学一般労連、関西地方本部、ダイトケミックス支部、OB会、京都在住の会員さん、大阪アスベスト対策センター、弁護士、韓国非正規労働研究センターなど多くの団体や職場から発言がありました。

【参加者アンケートより】

1. 記念講演「職業と化学発がん」

- ・がんの発がん過程が良く分かりました。
- ・人ががんになる原因の80%が生活環境によるには驚きました。がんにならないためには防御するのが一番効果があるのは事業者にもっと要求せねばと思いました。
- ・がんの性質がわかりやすい形でお話いただいたので職業がんを発症させる可能性のある物質の取り扱いを改善しない限り悪循環の職場はなくさない大変だとわかりました。転移は一生不安が残ります。
- ・がんが発症する仕組みを聞き、防げる可能性のあるがんが何故防げなかったのか。予防活動の重要性をあらためて感じました。

2. 基調報告①三星化学でなぜ膀胱がんが多発したのか

- ・会社の対応のひどさに驚いた。
- ・職場の実態があらためてわかりました。団体交渉の内容を報告発行したもの（ニュース）も紹介していただければと思いました。
- ・なるべくして発生した職業がんだと思います。会社は共に働く仲間を人と思っていないのが一番の要因だと感じました。やはり労働組合を作り会社へ要求していくことが重要であると思いました。
- ・あまりにも困難な状況下でよく認定を勝ち取ったと感激。幅の広い闘いが求められる。一層連帯を強めたい。
- ・正直お話を聞いてなんというか、心が驚くと共に悲し

くなりました。有害物質を取り扱っていないながら経費経営にしか目をやらず作業員を守らないと本当にそのうち会社つぶれますよと・・・若輩者ですが職場には危険薬品を扱うならその危険性の説明は必須で後から危険性がわかかったならすぐに使用停止または代用をしてほしい。

・本当に腹立たしい。粘り強い闘いを頑張って進めよう。
 ・大変な現状がよく伝わりました。
 ・常識を覆すような企業の体質に驚いています。闘う労働者の心意気に感動しました。

・三星化学の悪行をもっと広める必要がある。

2. 基調報告②職業がんと闘うオルトトルイジンの会

・発足の背景、活動の内容が良く分かりました。

・振り返りにあわれた気持ちだろうなと思いました。3交替の作業者が「80歳まで生きておられる方がおられない」には驚きでした。

・退職者は見捨てる労基局の対応にショックを受けました。会社の対応も事務的なもののみで通知送ったから責任は果たしたと言わんばかりの二回目以降自己負担・・・誠意ある対応をすると宣言した会社とは思えなかったです。でも「知らない」被害者が多いからこういう会社の横暴が通ってしまうんですね・・・。

・会の立ち上げやこの間の苦労や闘いに感銘を受けました。今後にも必ず活かして「声」をどんどん大きくしていきましょう。

・四国にも職業がんと闘う会があることを知りました。

3. 経過報告等 総括と方針 決算と予算

・ニュースの発行をお願いします。個人会員・団体会員を増やすべきだと思います。

・なくす会の拡大、できる限り協力してまいりたいと思います。

・私自身そして父が大変お世話になっております。ありがとうございます。微力ながら私もお力添えできればと思います。うち以上に苦しい環境におられる方、今まだ原因が職場にあったと知らない患者の方などの助けに少しでもなればと思います。

・是非徳島で集会をしましょう。

・会員に活動報告を！！ニュースなど

4. 会場報告

・たくさんの方の発言があり良かったです。

・多様な職業の方からの発言が良かったです。

・発言が多く積極的な印象を受けた。

・着実に前進していると感じた。

5 その他、集会の運営などについて

・来期は徳島で開催しましょう。

2016 年度決算報告書		2016 予算	2016 実績	
収 入	前期繰越金		-	
	会費	団体	100,000	142,000
		個人	100,000	154,000
	カンパ		300,000	431,794
	雑収入		0	109
	集会参加費	小計		413,000
		大阪		53,000
		福井		311,000
		東京		49,000
	合計		500,000	1,140,903
支 出	集会費	小計	100,000	594,439
		大阪		37,260
		福井		357,550
		東京		199,629
	事務費		50,000	62,864
	通信費		50,000	9,554
	交通費		200,000	184,918
	出張費		-	33,586
	予備費		100,000	0
	小計		500,000	885,361
次期繰越金			255,542	
合計		500,000	1,140,903	

2016 年度貸借対照表			
借方		貸方	
現金	17,001	前受金	0
普通預金	238,541	未払金	0
未収金	0	借入金	0
前払金	0		
貸出金	0	次期繰越金	255,542
合計	255,542	合計	255,542

2017 年度予算		2016 実績	2017 予算	
収 入	前期繰越金		-	
	会費	団体	142,000	160,000
		個人	154,000	200,000
	カンパ		431,794	300,000
	雑収入		109	100
	集会参加費	小計	413,000	500,000
		大阪	53,000	50,000
		福井	311,000	300,000
		東京	49,000	50,000
				100,000
合計		1,140,903	1,415,642	
支 出	集会費	小計	594,439	600,000
		大阪	37,260	50,000
		福井	357,550	300,000
		東京	199,629	100,000
				150,000
	事務費		62,864	60,000
	通信費		9,554	50,000
	交通費		184,918	200,000
	出張費		33,586	40,000
	予備費		0	465,642
小計		885,361	1,415,642	
次期繰越金		255,542		
合計		1,140,903	1,415,642	